

なかよし

てんどうちゅうぶしょうがっこう
天童中部小学校

がっきゅう
いちよう学報

R 4. 2. 10

No. 35

「ていねいにくらす」 その2

ある日のマイプラン学習でのことです。Aさんはマイプラン学習が始まる前にクラスの子ども達と何気ない会話をしたり、ふざけあったりしていました。しかし、時間になると学習に必要な物を持って活動場所へ向かいました。今回のマイプランは国語と算数です。クラスの他の子ども達は国語の活動場所に行きました。みんなでまとまっていくのかなと思って様子を見てみるとAさんは1人で算数の場所へ向かいました。「今日は算数をするの？」と尋ねると、「前やった算数の続きをやる。えっと、今日は確か実践編だったかな。」と言いながら自分のファイルを見てすたすた歩いていきました。周りの子ども達がしているからではなく、自分が決めていることだからというAさんの意志が歩いていく後ろ姿から感じ取れました。教室でやる授業とは違い、自分で学習内容を決めることができる活動です。なおさら自分の意志を持っていないと周りに流されてしまいます。人通りの少ない廊下で黙々と取り組んでいる様子を見て、自分の学習をていねいにつくりあげていると思いました。

そんなAさんですが、以前は自分が分からない学習には「分からないからやらない。」と言うことがありました。また、やろうという気持ちはあってもどうしたらいいか分からずに立ち止まってしまい一歩が踏み出せないでいました。しかし最近は「これはどうするの?」「やり方教えて。」

と自分から聞きに来ます。さらに今では、「これはこうやってやるの?」「こうやってやるんでしょ。」と自分なりの考えややり方を考えてから聞きに来るようになりました。今まで自分がていねいに積み上げてきた学習が自分の力になっていて、それがまた次の学習に取り組む時の自信につながっていると、Aさんの言葉の変化から感じました。またある日の朝、「先生時間割違うよ、ここは僕交流だよ。時間割変わったの?」とその日の時間割が書いてあるホワイトボードを見て言いました。よく見ると私が書き間違えていることに気が付きました。「ごめん、ごめん。」と謝ると「先生しっかりしてよー。」と言われてしまいました。全くその通りだ、と反省したと同時に感心もしました。自分のその日の予定を朝しっかり確認しているだけでなく、変更があるのかまで気にするのは大人でもなかなかできないことだと思います。毎日のくらしをていねいに作り上げていることが、Aさんの言葉や生活の様子、学習の仕方に表れているように思えます。今後もAさんは自分のやり方で、ていねいに毎日のくらしをつくっていくのだと思います。



フリースタイルプロジェクトの二回目が終わりました。発表会で自分の取り組んできたことをたくさんの人に見てもらい、自分なりに納得して活動を終えることができたようでした。保護者の皆様の材料や道具の準備など、ご協力ありがとうございました。